

平成18年度第5回西区区民会議・議事録

I 日時・場所

日 時 平成19年2月3日(土) 10:00～12:00
場 所 西区役所2階 大会議室

II 出席者

(委員：11名 敬称略、50音順) 江口三郎、大須賀晤、岡部安男、笹本カホル、関根明、関根英明、土橋章二、平野初夫、廣瀬彌生、宮内潔、横田明(欠席：青木忠雄、池谷勝則、今西誠一、小峰武久、中島義彦、永田悦男、浪江好治、松本讓二)
(事務局：7名) 上野区長、鈴木副区長、山岸区民生活部長、岩田健康福祉部長、遠山コミュニティ課長、松田主査、市川主事

※なお、傍聴者はなし

III 次第

1. 開会
2. 議事
3. 閉会

※報告事項(前回議事録の確認等)

- (1) 各部会の活動報告について
- (2) 活動報告書(素案)について
- (3) 活動報告書(素案)確認手順について
- (4) その他

IV 議事の概要

1. 第5回区民会議 確認事項等の概要

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">①各部会の活動状況や、今後のスケジュールが確認された。②活動報告書(素案)が確認された。 |
|---|

2. 議事

(1) 各部会の活動報告について

各部会より、部会の活動経過について報告があった。

①基本部会

■都市基盤・交通部会

- ・提言については、基盤整備の現状に対する課題解決に結び付けるための提言として、大きく『目玉づくり』『仕組みづくり』の二つのポイントに絞り込んだ。
- ・区の特徴的な資源を積極的に活用するとともに、個別要望にとどまらないようなまちづくりの目玉として、新駅を中心とした「水と緑と花のまち整備プラン」を提言する。
- ・基盤整備等の市の取り組み状況を、的確に区民へ伝えるためのシステムとして、「市民にわかりやすいPDCAサイクル」を確立することを提言する

■健康・福祉部会

- ・以下のとおり3つの提言に集約をした。
- ・「西区スポーツ健康セミナー」については平成18年10月1日に開催済みである。
- ・「西区子育て応援ガイド」も既に平成18年11月1日に全戸配布済みである。
- ・高齢者のみならずその予備軍も広く対象とした、生活体力づくりの啓発及び事業の実践、そしてその実践のフィードバックまでを総合的に、市民と行政が協働しながら一連のプログラムとして確立する「生活体力づくりの環境整備」を提言する。

■文化・コミュニティ部会

- ・コミュニティ意識の希薄が、現代の諸問題の根底にあるという視点から、三つの提言にまとめた。
- ・「(仮称)西区のさんぽみちづくり」として、過去3回の開催実績がある「西区ふれあいウォークラリー大会」のガイド冊子をもとに、西区全域を網羅したガイドを作成することを提言する。地域コミュニティの活性化はもとより、西区の課題をいろいろな角度から捉えるための検討材料として活用していくことが可能と考える。
- ・「(仮称)コミュニティ会議連絡会の設立」として、地域社会における市民活動の活性化を目的に、区民会議との連携も視野に入れた、地域活動団体相互の連携の基盤作りを見据えた連絡会議の設立を提言する。そのイメージはあくまでもゆるやかなで対等な連携であり、団体相互の連携のきっかけ作りを主眼に置いたものである。

- ・ 3 番目の提言である伝統芸能への支援については、西区の特徴である身近な民俗文化に親しむことで地域への愛着をはぐくむことを目的として、西区文化財ガイドブックにその部分を織り込む予定である。

②アクション部会

■環境・防犯部会

- ・今年度事業として、「菊花展」「青少年育成講演会」が既に実施済みである。
- ・現在は「西区風景写真展」の詳細について、鋭意準備を進めているところである。

■スポーツ振興部会

- ・第3回ふれあいウォークラリー大会を12月10日に開催した。参加者からのアンケート結果については、資料にお示ししたとおりである。なお、当日は約130名の参加があり、盛況のうちに終えることができた。
- ・現在は、こちらも第3回目を迎える、ふれあいたこあげ大会を2月18日に実施する予定で準備を進めている。過去2回と同様、荒川河川敷にてたこあげを行う。なお既に230名近い事前申し込みが寄せられている。

■歴史・文化部会

- ・第2回西区歴史・文化財講演会については、1月26日に秋葉先生を講師に招いて開催した。参加者からのアンケート結果については、資料にお示ししたとおりである。資料等の使用方法については課題を残す結果となったが、今後に生かしていただければと考える。なお、当日は前回は上回る約120名の参加があり盛況のうちに終えることができた。
- ・西区文化財ガイドブックは、3月の刊行に向け、現在、最終的な校正を行っているところである。

③広報部会

- ・3月1日発行予定の第12号は、第2期区民会議としての最後の号として、これまでの第2期の活動を総括する内容となっている。現在、最終的な校正を行っているところである。

(部会報告について、以下の意見・質問があった。)

委員：都市基盤・交通部会の提言においても触れられていた、西区の基盤整備のうち、特に下水道整備の進捗率は現在どの程度なのか。

委員：西区における下水道整備は、さいたま市において最も立ち遅れており、急務であるとの認識から、前述したような提言を策定した次第である。

事務局：ご指摘のとおりであるが、さいたま市全域を考えた場合、市全体の下水道整備率を向上させることはすなわち、西区の整備を積極的に進めるということにつながるとご理解いただきたい。

委員：文化・コミュニティ部会の提言にある、「(仮称) コミュニティ会議連絡会の設立」については、設立スケジュールは確定しているのか。

事務局：今年度中の発足を予定している。

(2) 活動報告書(素案)について

事務局より、活動報告書(素案)について、説明があった。

- ・前回会議において、確認いただいた提言の骨子をもとに、活動実績等も含め報告書の体裁にまとめたものが、本日お示しした報告書(素案)である。なお、写真資料及び現時点での未完結事業については部分的に空欄のままである。
- ・各部会からの提言の表記方法は、前段で概要を示し、まず提言の趣旨と背景、次に提言の内容、そして最後に提言の中から具体的な表記として抽出した提案の3部構成となっている。
- ・活動報告書(素案)中、第2期の2年間の活動を通じた成果と課題の部分について、この会議においてご意見をいただき、その結果を調製する予定である。

(説明について、意見・質問)

委員：提言の表記方法について、具体的な表記として抽出したとのことだが、提案の対象を明記したほうがいいのではないかと(行政、区民、次期区民会議など)。このままだと、誰に対して提案をしているのかが不明瞭である。

事務局：提言等については、ご指摘のとおり整理をする。

委員：了解した。

委員：行政に対する提言のうち、予算が発生することを予定しているものについては、予

算措置されるのか。

事務局：それらについては、あくまでも政策提言としての位置づけであり、必ずしも予算措置を担保するものではないとご理解いただきたい。

委員：了解した。

委員：新駅を中心とした、区の整備構想については、長期的なスパンで取り組む必要がある課題であり、これらは是非次期区民会議においても引き続き議論いただけるよう申し送りをしたい。

委員：2年間の活動を通じた課題の内容についてだが、部会において煮詰めることができず結果的に積み残しとなってしまったアイデア等、つまり、各部会において議論の俎上に乗ったものであれば盛り込んでもよいと解釈してよいか。

事務局：お見込みのとおりである。ただし、活動報告書としての性格上、課題として盛り込む内容については、単なる要望レベルのものとは差別化を図っていただく必要があるとご理解いただきたい。

委員：了解した。

(3) 活動報告書（素案）確認手順

事務局より、活動報告書（素案）について、説明があった。

- ・今回の活動報告書（素案）に対する意見があれば、所定の書式にご記入いただき、事務局まで提出して欲しい。
- ・それらを部会ごとに整理し送付するので、それら見た上で、各部会において部会開催の必要の有無についてご判断いただきたい。（部会開催を不要とした場合は部会長一任となる）。
- ・以上、部会において確認されたものを反映した形で、活動報告書（案）を次回の第6回区民会議においてお示しする。そこで、活動報告書としての最終的なご確認をいただくという流れになる。

（説明についての意見・質問）

委員：部会開催の必要性については、どのレベルで判断したらよいか、その線引きは何か明確なものがあるのか。

事務局：文章校正は、事務局が行うので、提言内容にかかる部分について、再度ご確認を頂きたい。部会開催の必要性については、原則、各部長にご判断いただきたいが、判断し易い様、事務局においてある程度、その部分を織り込んだ上で整理をして提示する。

委員：了解した。

(4) その他について

事務局より、以下について説明・報告があった。

- ・第3期区民会議の公募委員の応募状況は、第2期の実績を上回る結果となった。委員各位の広報・周知におけるご協力に感謝する。

(説明についての意見・質問)

委員：今回の公募状況の結果は、事務局における広報活動がある程度の効果を挙げたことと同時に、区民会議に対する区民の関心が高まりつつあると考えられるのではないか。その意味からも評価したい。今後は、まちづくりに対する意識の高い公募委員の人数を増やしていくべきではないか。

事務局：公募委員の増加については、既に実績を上げている。第1期から第2期、第3期にかけて、いずれも前期より公募委員枠を広げている。

委員：了解した。

委員：今後は、新たに高校生や大学生などの枠を設けることで、若い方々の区民会議への参加を考慮に入れてはどうか。

事務局：要綱に定められているとおり、区民会議は20名程度で構成することとしている。つまり、区民会議形式の人数規模は、20名から多くても25名までを、円滑な会議運営にかかる適正規模であることを想定している。

事務局：学生の方の参加については、現実問題として難しい部分がある。であるので、区民会議が実施する事業等において幅広い層にご参加を頂くということをご理解いただきたい。

委員：了解した。

※次回開催予定

平成18年度第6回区民会議は、平成19年3月2日（金）15：00より、西区役所にて開催する。

以 上